

市町村名	栗国村						
平成29年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-④	照喜名原地区整備事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(2)		
担当部署名	経済課	事業実施(予定)年度	平成27~30年度	沖縄振興基本方針該当箇所	国際的な沖縄観光ブランドの確立 Ⅲ-1-(1)		
事業内容	栗国島を訪れる観光客の受け入れ基盤及び村民の憩いの場を強化するため、「ウーグの浜」を含む照喜名原地区の整備を行う。						
効果発現年度	<input type="checkbox"/> 当年度 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度(R2 年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		H27年度	H28年度	H29年度	H29年度(繰越)	H30年度	
	予算の状況	(a)当初予算額	7,560	10,161	19,172	-	
		(b)予算現額	7,560	9,960	18,640	-	
		(c)増減額(b-a)	0	▲201	▲532	-	
		(d)繰越額	-	-	-	18,684	
		A.計(b+d)	7,560	9,960	18,640	18,640	
		B.執行済額	7,506	9,936	0	18,640	
		うち交付金充当額	6,004	7,949	0	14,912	
		次年度繰越額	-	-	18,640	-	
	執行率(%) (B/A)	99.3%	99.8%	0.0%	100.0%		
予算の状況の説明	事業計画どおりに執行を進め、入札残(532千円)が発生したことから、減額した。実施設計業務に不測の日数を要したため、繰越(18,640千円)が生じた。						
活動目標(指標)及び達成状況	H29活動目標(指標)		達成状況				
			H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	
	照喜名原地区保全・整備実施設計の実施	目標	(基本設計の実施)	(実施設計の実施)	()	()	
		実績	基本設計の実施	実施設計の実施			
		目標	()	()	()	()	
実績							
達成状況説明	照喜名原地区基本設計に基づき実施設計を行い、目標を達成した。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H29成果目標(指標)		基準値(年度)	H29年度	H30年度	R1年度	目標値(R2年度)
	照喜名原地区保全・整備実施設計の完成	目標	()	(実施設計の完成)	()	()	()
		実績		実施設計の完成			
	【R2成果目標】 年間利用者数:900人	目標					900人
		進捗状況説明	照喜名原地区保全・整備実施設計を完成させ、目標を達成した。次年度以降整備工事に着手し、新たな観光スポットとしての整備を行う。				

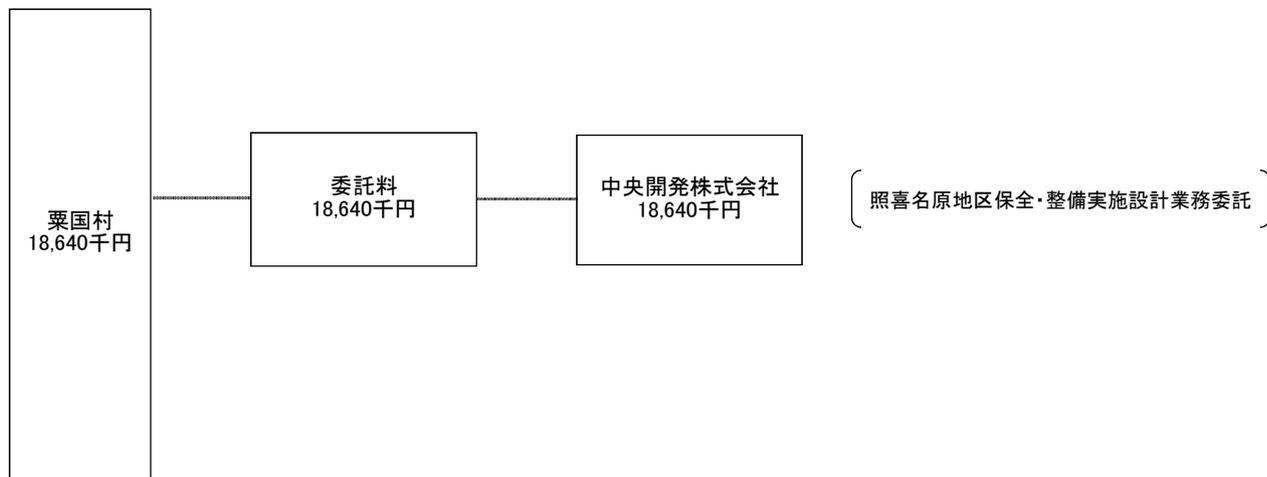
	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	(保安林) ・整備予定箇所は保安林に指定されているため、解除に向けた手続きを円滑に進めることが課題である。 (運営方法検討) ・施設の整備を進めながら、供用開始後の運営方法等についても検討を行うておくことが重要である。	(保安林) ・整備予定箇所の保安林解除に向けては、関係機関と十分調整を図る必要がある。 (運営方法検討) ・供用開始後の運営方法等について、具体的な検討を進める必要がある。

今後の取り組み方針

(保安林) ・整備予定箇所の保安林解除に向け、関係機関との十分な調整を図る。 (運営方法検討) ・供用開始後の運営方法等について、検討会等を開催し管理計画の策定を図る。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
18,640	18,640	14,912	3,728	0



資金の流 れ、 検 査 目	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は指名競争入札方式により企業組織、実績、知識等を勘案した上で選定しており妥当であったと考えている。 ○予算規模については、不用額は発生しておらず、適正な規模であった。 ○費目、用途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	